

学校教育目標	「Shine かがやこう! Rainbow にじいろのえがお Nexus つながる白根」 ○自ら学び、様々な表現活動を通して考えを深めようとする力を育てます。(知) ○自分のよさを発揮し、他の違いを認め合いながらともに活動できる心を育てます。(徳) ○自分や他の生命と体を大切に、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体) ○自分を見つめ、仲間や地域社会とのつながりを大切にしながら、ともに生きようとする心を育てます。(公・開)					
	創立 143 周年 児童生徒数: 615 人	学校長 海老澤孝代 主な関係校: 上白根北中学校、今宿中学校、鶴ヶ峯中学校	副校長 片岡ひかり	2 学期制	一般学級: 18	個別支援学級: 5

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	上白根北中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力>	上白根北中学校 上白根小学校 白根小学校 四季の森小学校	自分の思いや考えを表現する子ども 互いを認めあえる子ども 課題解決や目標実現のために粘り強く努力する子ども ・特別支援教育の視点を大切にした学習指導及び児童・生徒指導の推進 ・人権感覚をはぐくみ、児童・生徒一人ひとりの活躍の場、役割を大切にしたい安心できる居場所づくりの推進 ・児童生徒が表現する場や機会を保障し、その経験を重ねていく取組の推進

中期取組目標	○教職員、保護者、地域が三位一体となり、子ども一人一人が自分のよさを発揮し、互いに認め合える学校を目指します。 ・1年目は、一人一人の子どもが自分自身を見つめ、自分のよさを安心して出せる場づくりに努めます。 ・2年目は、お互いが一人一人のよさを認め合い、自分の考えを伝え合える力を育てます。 ・3年目は、伝え合うことで自分の考えを深め、何事にも自分から積極的に関わろうとしていく子の育成に努めます。 ・3年間を通して、教職員、保護者、地域が協力し、子ども一人一人が自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知 担当 研究部	①単元計画を工夫し、日常生活や他教科と関連させることで、自ら課題を発見し解決しようとする力を育てる。②ICTを有効に活用し、子どもたちが自分の考えをもつ、広げる、整理する、交流する、まとめることができるようにする。また、ペアやグループ活動では、必要感をもって学び合いができるようにする。
<b>徳</b> 豊かな心 担当 研究部	①たてわり活動では、行事のときだけでなく、互いを知ったり感謝を伝えたりする機会をもつことでさらに充実させ、自己有用感がもてるようにする。②自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりする活動を充実させる。また、多様な考えを寛容に受け止める雰囲気を作っていく。
<b>体</b> 健やかな体 担当 研究部	①縄跳びではめあてをもち、継続的に取り組むことで体力向上を図る。運動委員会の活動を充実させ、年間を通して様々な運動に親しめるようにする。②食育では、地域の農家の方とかかわる機会をもったり、食材に関する掲示物やクイズなどを作って掲示したりするなど、食材により興味をもてるようにする。
<b>公開</b> 自分づくり教育 担当 総務部	①各教科や特別活動、学校行事等のふり返りを自分づくりパスポートと関連付ける。②地域コーディネーターとの連携をさらに深め、学年間のつながりを考慮して地域とつながる学習を展開する。③様々な発表の場面では原稿を読むだけでなく、自分の言葉で話すことを目指す。
<b>いじめへの対応</b> 担当 指導部	①いじめの未然防止につなげるため、学校のきまりやスタンダードを共有し、全職員が同じ視点で支援に当たる。②児童支援専任・指導部を中心に定期的にいじめ防止対策委員会等を開き、早期発見・早期対応・未然防止に努める。③対応の改善に向けて、職員会議等での児童の情報交換を行う。
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b> 担当 教務部	①メンター研の日程や内容を共有し、全職員で人材育成の意識を持つ。②令和4年度の校務分掌割当を生かし、昨年度の経験やふり返りを生かした計画、実践をするなど、それぞれが自分の役割を責任をもって行えるようにする。③授業時数を見直し、ゆとりをもった会議の時間や教材研究等の時間をもてるようにする。
<b>地域学校協働活動</b> 担当 教務部・総務部	①引き続き学校だよりやHPを活用し、情報提供に努める。②保護者ボランティアを募り様々な活動に関わっていただく中で、児童との関わりも図るようにする。③学校運営協議会を年5回開催し、様々な課題の具体的な対応を検討する。また、職員との共通理解を深める。
<b>児童理解</b> 担当 指導部	①様々な教育活動を通して、児童一人一人が自分のよさを発揮し、互いのよさを認め合える関係づくりを図る。②定期的なアセスメント・支援検討会を行うことに加え、特別支援の視点をもった児童支援・学級経営に努める。③SCやSSWとの情報共有や特別支援研修等、他機関との連携を図る。
担当	b9
担当	b10